

# 事業報告書

## 1. 法人の概要

### (1) 基本情報

#### ①法人の名称

学校法人健生学園 東日本医療専門学校

#### ②主たる事務所の住所、電話番号、FAX番号、ホームページアドレス等

住所 仙台市太白区中田四丁目4番35号

電話 022-381-8381

FAX 022-381-8380

HP <https://www.kenseigakuen.jp/>

### (2) 学校法人の沿革

平成 15 年 3 月 柔道整復養成施設設置指定申請承認  
平成 15 年 4 月 健生学園 東日本医療専門学院 柔道整復科設立  
平成 17 年 3 月 はり師・きゅう師養成施設設置指定申請承認  
平成 17 年 4 月 鍼灸科設立  
平成 18 年 1 月 学校法人設立認可  
平成 18 年 1 月 学校法人 健生学園に法人変更  
平成 30 年 4 月 増築工事完了  
平成 31 年 4 月 ダヴィンチ英智保育園開園  
令和 2 年 5 月 実践研究科開講

### (3) 設置する学校・学部・学科等

東日本医療専門学校

令和 6 年 4 月現在募集を行っている学科

学科：柔道整復スポーツ科学科

鍼灸スポーツ科学科

コース：昼間部

募集定員：柔道整復スポーツ科学科 昼間部 60 名

鍼灸スポーツ科学科 昼間部 30 名

計 90 名

修行年数 各学年 3 年

修行年数 各学年 3 年

※スポーツ健康科学科(昼間部)は、現在募集を休止。

実践研究科                      昼間部 30名                      修行年数 1年

(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況

(令和6年4月1日現在)

東日本医療専門学校	入学定員	入学者数
柔道整復スポーツ科学科	60	31
鍼灸スポーツ科学科	30	16

(5) 収容定員充足率

(毎年度5月1日現在)

東日本医療専門学校	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
定員	270	270	270	270	270
在校生	137	163	175	193	173
充足率	50.7%	60.3%	64.8%	71.5%	64.1%

※小数点第2四捨五入

(6) 役員概要

番号	役職名	氏名	代表権の有無	住所	選任区分 (法第38条第1項)	任期		主な職業
						平成28年4月1日から 平成 年 月 日まで	年	
1	理事 校長	高橋 孝義	無	宮城郡 七ヶ浜町	第1号	平成28年4月1日から 平成 年 月 日まで	年	
2	理事 法人部長	中尾 淳子	無	仙台市	第2号	令和5年12月7日から 令和8年12月6日まで	3 年	
3	理事 副校長	大渡 光弘	無	岩沼市	第2号	令和5年12月7日から 令和8年12月6日まで	3 年	
4	理事	菅野 貴宏	無	名取市	第2号	令和5年12月7日から 令和8年12月6日まで	3 年	
5	理事	佐々木 俊尚	無	仙台市	第2号	令和5年12月7日から 令和8年12月6日まで	3 年	柔道整復師

6	理事 理事長	中尾 充	有	仙台市	第3号	令和5年12月7日から	3	(株)健生 代表取締役
						令和8年12月6日まで		
7	理事	大塚 耕輝	無	仙台市	第3号	令和5年12月7日から	3	(株)フロンティア 代表取締役
						令和8年12月6日まで		
8	理事	洞口 淳	無	名取市	第3号	令和5年12月7日から	3	医師
						令和8年12月6日まで		
9	監事	佐藤 大輔	無	石巻市		令和5年12月7日から	3	
						令和8年12月6日まで		
10	監事	佐藤 健一	無	仙台市		令和5年12月7日から	3	
						令和8年12月6日まで		

※令和7年4月より法改正為、任期が短くなる可能性がある

(7) 評議員の概要

番号	氏名	満年齢 (※)	選任区分 (法第44 条第1項)	任期		住所 (市町村名)	主な職業
				令和5年12月7日から	3年		
1	中尾 充		第1号	令和5年12月7日から 令和8年12月6日まで	3年	仙台市	理事長
2	高橋 孝義		第1号	令和5年12月7日から 令和8年12月6日まで	3年	七ヶ浜町	校長
3	中尾 淳子		第1号	令和5年12月7日から 令和8年12月6日まで	3年	仙台市	法人部長
4	大渡 光弘		第1号	令和5年12月7日から 令和8年12月6日まで	3年	岩沼市	副校長
5	菅野 貴宏		第1号	令和5年12月7日から 令和8年12月6日まで	3年	名取市	学科長
6	南洞 大宥		第1号	令和5年12月7日から 令和8年12月6日まで	3年	仙台市	学科長
7	村田 幸一		第1号	令和5年12月7日から 令和8年12月6日まで	3年	仙台市	鍼灸科教員
8	目時 誠		第1号	令和5年12月7日から 令和8年12月6日まで	3年	名取市	柔整科教員
9	阿相 直樹	46	第2号	令和5年12月7日から 令和8年12月6日まで	3年	柴田郡	あそう整骨院
10	内田 勇太	38	第2号	令和5年12月7日から 令和8年12月6日まで	3年	仙台市	きりん整骨院

11	櫻井孝也	41	第2号	令和5年12月7日から	3年	仙台市	柔道整復師
				令和8年12月6日まで			
12	鈴木 聖也	32	第2号	令和5年12月7日から	3年	仙台市	鍼灸整骨院いろは
				令和8年12月6日まで			
13	千葉 卓也	41	第2号	令和5年12月7日から	3年	仙台市	たっく鍼灸遺骨院
				令和8年12月6日まで			
14	大塚 耕輝		第3号	令和5年12月7日から	3年	仙台市	会社代表
				令和8年12月6日まで			
15	洞口 淳		第3号	令和5年12月7日から	3年	名取市	医師
				令和8年12月6日まで			
16	酒井 淳		第3号	令和5年12月7日から	3年	伊達市	会社役員
				令和8年12月6日まで			
17	鈴木 一誠		第3号	令和5年12月7日から	3年	仙台市	はり師・きゅう師
				令和8年12月6日まで			

※「満年齢」は、第2号評議員についてのみ記入する

※令和7年4月より法改正為、任期が短くなる可能性がある

#### (8) 教職員の概要

令和7年4月現在

東日本医療専門学校

専任教員: 14名

非常勤教員: 27名

職員: 5名

職員(パート): 1名

産後休暇取得中: 1名

ダヴィンチ英智保育園

専任職員: 6名

非常勤職員: 5名

産後休暇取得中: 1名

#### 役員

理事: 8名 (学校長1名、評議員より選出4名、学識経験者3名)

監事: 2名

評議員: 17名 (法人職員: 8名、25歳以上の本校卒業生5名、学識経験者4名)

## 2. 事業の概要

### (1) 教育目標

## 東日本医療専門学校

伝統医療を継承しつつ現代のニーズにあった人材育成を目指す  
幅広いフィールドで即戦力となる人材の育成を目指す。

## ダヴィンチ英智保育園

英語・体操・食育の3本柱を軸に国際性豊かな人間力のある子ども、五感の刺激や豊かな感性や社会性を身に付くことが出来る子供を育む。

### (2) 主な教育・研究の概要

・「卒業の認定に関する方針」、「教育課程の編成及び実施に関する方針」、「入学者の受入れに関する方針」については別紙のとおりとする。

### (3) その他

#### 財務状況に関する説明

##### ① 資金収支計算書

当該会計年度に行った教育研究等の諸活動に対応して生ずるすべての資金の収入及び支出の内容を明らかにします。

諸活動の対応関係に関わらず、現実に収納し、または支払った資金の収入及び支出についてそのてん末を明らかにします。

##### ② 事業活動収支計算書

一会計年度中の事業活動収入及び事業活動の支出の内容を明らかにします。

基本金組入後の均衡状態が保たれているか否か計算・表示します。

##### ③ 貸借対照表

一定時点(決算日)における資産および負債、純資産(基本金・繰越収支差額)の内容及び在り高を明示し、学校法人として財政状況(ストック)を明らかにするものです。すなわち、事業活動収支計算書の年度間の橋渡し役です。

## 3. 財務の概要

### (1) 決算の概要

#### ① 貸借対照表関係

##### ア) 貸借対照表の状況と経年比較

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
固定資産	495,108,213	505,005,973	515,450,679	495,468,599	501,392,050
流動資産	259,493,266	245,752,436	250,376,694	285,487,026	243,721,710
資産の部合計	754,601,479	750,758,409	765,827,373	780,955,625	745,113,760
固定負債	12,768,000	19,776,000	27,368,000	33,792,000	40,800,000
流動負債	140,735,544	114,762,021	124,775,253	136,138,851	154,571,234
負債の部合計	153,503,544	134,538,021	152,143,253	169,930,851	195,371,234

基本金	627,392,671	626,215,148	625,726,394	596,234,201	589,315,665
繰越収支差額	△26,294,736	△9,994,760	△12,125,118	14,790,573	△39,573,139
純資産の部合計	601,097,935	616,220,388	613,684,120	611,024,774	549,742,526
負債及び純資産の部合計	754,601,479	750,758,409	765,827,373	780,955,625	745,113,760

ア) 財務比率 ※小数点第2 四捨五入

固定資産 構成比率	有形固定資 産構成比率	流動資産 構成比率	固定負債 構成比率	流動負債 構成比率	純資産構 成比率	前受金保 有率
65.6%	64.8%	34.4%	1.7%	18.7%	79.7%	222.9%

② 資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

収入の部	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
学生生徒等納付金収入	166,270,000	185,120,000	204,130,000	229,740,000	203,498,000
手数料収入	1,621,400	1,577,520	1,808,744	1,617,300	1,360,220
寄付金収入	7,000,000	7,600,000	6,800,000	0	0
補助金収入	38,793,808	34,788,347	34,007,539	34,639,791	29,701,839
資産売却収入	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	4,266,050	4,043,920	3,544,200	3,976,885	4,480,300
受取利息・配当金収入	124,232	2,328	2,417	2,594	1,957
雑収入	3,194,261	3,216,453	889,634	70,714,061	848,547
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	116,219,500	91,672,500	102,086,000	113,501,000	127,129,000
その他の収入	69,267,461	64,131,432	58,810,410	52,950,447	62,703,176
資金収入調整勘定	△91,756,750	△102,135,857	△113,852,318	△127,256,105	△113,844,693
前年度繰越支払資金	245,213,090	249,406,896	284,827,721	243,075,208	213,473,657
収入の部合計	560,213,052	539,423,539	583,054,347	622,961,181	529,352,003

支出の部	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
人件費支出	163,347,693	160,711,946	164,619,479	163,288,080	165,108,452
教育研究経費支出	21,773,095	20,831,149	26,077,478	24,800,010	19,962,487
管理経費支出	39,292,462	40,520,722	45,997,901	80,379,278	31,424,687
借入金等利息支出	615,171	655,361	45,997,901	80,379,278	1,298,369
借入金等返済支出	7,592,000	6,424,000	7,008,000	80,379,278	9,720,000
施設関係支出	0	330,000	29,000,000	0	0
設備関係支出	1,466,023	330,000	2,185,673	5,001,525	4,441,807

資産運用支出	0	0	0	0	0
その他の支出	217,155,882	211,973,691	210,142,027	205,086,582	208,116,242
資金支出調整勘定	△150,047,030	△147,554,836	△152,225,088	△151,289,091	△153,795,249
翌年度繰越支払資金	259,017,756	245,213,090	249,406,896	284,827,721	243,075,208
支出の部合計	560,213,052	539,423,539	583,054,347	622,961,181	529,352,003

③ 事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

科目		令和6年度	令和5年度	令和4年度
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	166,270,000	185,120,000	204,130,000
	手数料	1,621,400	1,577,520	1,808,744
	寄付金	7,000,000	7,600,000	6,800,000
	経常費等補助金	38,793,808	34,788,347	34,007,539
	付随事業収入	4,266,050	4,043,920	3,544,200
	雑収入	3,194,261	3,216,453	889,634
	教育活動収入計	221,145,519	236,346,240	251,180,117
	事業活動支出の部			
	人件費	163,347,693	160,711,946	164,619,479
	教育研究経費	31,535,149	30,465,978	35,648,484
	管理経費	40,894,191	41,979,015	47,371,755
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	235,777,033	233,156,939	247,639,718
教育活動収支差額	△14,631,514	3,189,301	3,540,399	
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	124,232	2,328	2,417
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	124,232	2,328	2,417
	事業活動支出の部			
	借入金等利息	615,171	655,361	869,981
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	615,171	655,361	869,981
教育活動外収支差額	△490,939	△653,033	△867,564	
経常収支差額		△15,122,453	2,536,268	2,672,835
特	事業活動収入の部			

別 収 支	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	0	0	0
	特別収入計	0	0	0
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	0	0	13,489
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	0	0	0
	特別収支差額	0	0	△13,489
基本金組入前当年度収支差額		△15,122,453	2,536,268	2,659,346
基本金組入額合計		△1,177,523	△488,754	△29,492,193
当年度収支差額		△16,299,976	2,047,514	△26,832,847
前年度繰越収支差額		△9,994,760	△12,042,274	14,790,573
基本金取崩額		0	0	0
翌年度繰越収支差額		△26,294,736	△9,994,760	△12,042,274

(参考)

事業活動収入計	221,269,751	236,348,568	251,182,534
事業活動支出計	236,392,204	233,812,300	248,606,032

#### ④ 財政比率

人件費比率	人件費依存率	教育研究 経費比率	管理経費比率	学生生徒等 納付金比率
73.8%	98.2%	14.3%	18.5%	75.1%

#### (2) その他

##### ①借入金の状況

借入先	期末残高	利率	返済期限等
仙台銀行	19,776,000	2.350%	令和10年1月31日

##### ②関連当事者等との取引の状況

###### ア) 関連当事者

役員・法人等の名称	事業内容又は職業	関係内容(役員の 兼任等・事業上の 関係)	取引の内容等	
(株)健生 ジャパン柔道整復師会	代表取締役、常務	理事、監事	広告協賛	60,000
			保守料	0

			諸会費	30,000
旬代替医療総合研究所	代表取締役、常務	理事、監事	学生駐車場	2,664,000
医療法人社団洞口会	医師	監事	教職員健康診断	315,040



# 令和6年度事業報告

## 柔道整復スポーツ科学科

本年度の柔道整復スポーツ科学科における各種取組について、次の通り報告いたします。

### 1. 教育目標を果たすための実践的教育に関する取組について

- ・外部審査員を招いた実技評価を3年次秋に1回実施した。
- ・提携企業から講師を招きセミナー等を13回実施した。

(主な提携企業) 敬称略

- 株式会社オンアンドオン、株式会社サンキュー、株式会社シナジージャパン、株式会社爽健グローバル、日本セラピー株式会社、株式会社ハーツブリッジ、株式会社 HITOMIO テクノロジーズ、株式会社フロンティア、他
- ・各種スポーツ大会のトレーナー/救護派遣の際に希望学生を引率し、実際のスポーツ現場における各種活動の体験/見学を合計11回行った。

(主な派遣先)

- 1) 高校柔道大会
  - 2) 中学サッカー大会
  - 3) 少年野球合宿 など
- ・プロスポーツ研修としてベガルタ仙台様、楽天野球団様の御協力のもとトレーナー業務の実務見学研修を3回行った。
  - ・臨床体験研修としてスキー場にあるゲレンデ接骨院で急性外傷の診察および応急処置に関する研修を2回実施した。
  - ・学生間の交流や技術と知識の研鑽を目的に実技競技会を実施した。実施したことにより例年よりもクラス内の交友が早期に深まるなど一定の効果が感じられたため、今後も継続して開催したいと考える。

### 2. 在校生の動向について

- ・柔道整復スポーツ科学科として退学率10%未満を目標に一年間取り組み、前年度の14.5%から4.4%と大きく減少することができた。従来から取り組んでいる個人面談や放課後の補習授業ならびに個別/集団学習指導の実施の他、複数の教員の視点で学生を観察し、懸念のある学生の早期発見-早期対応に注力した。また、授業の指導方法の工夫（アクティブラーニングの導入、課題や演習を用いた学習、視覚教材の活用など）や試験不合格者を対象とした補習や課題学習が挙げられる。令和7年度も引き続きこれらを継続して取り組みながら、いかに学生の学習意欲を高めながら学校生活を送れるかをテーマに活動を実施する。
- ・3年生の進路状況においては、就職希望者の就職率が93.8%となった。成績に不安がある学生ほど、就職活動の開始時期が遅くなる傾向があるため、就職率を高く保つためにも成績面の早期指導が不可欠である。また、就職への意識が例年よりも低いことも要因であったと考えられる。面談での助言や職業理解を深める企画の実施などを計画し、次年度はより高い数字になるように取り組みたいと考える。

### 3. 資格検定試験の成果について

- 令和6年度の柔道整復師国家試験において新卒合格率71.4%（全国平均75.9%）と東北5位という結果であった。前年度96.6%と手ごたえの感じたやり方を継続して実施したが、全国平均を下回るほど低調な結果となった。

要因として、全国平均が過去ワースト2位の75.9%が示すように問題難易度が難しかったことと、受験者の習熟度が例年に比べて低かったためと考えられる。

特に習熟度の点では、1年次から補習授業や放課後学習等を行ってきたが、これらへの参加率が低かったり、提出物が期限までに出なかったりと、なかなか教員の指導通りに進捗することができなかった。国家試験に不合格となった学生の多くは知識の応用性を問う問題での失点が多かったことから、いかに早期から真剣に勉強に取り組んでもらえるように導くかが重要であると痛感している。

令和7年度に取り組むべき改善点としては、学生と教員の強固な信頼関係の構築と授業内や面談等で受験に向けた意識づけ誘導を図り、苦手科目の分析と改善に向けた学習指導に尽力したい。

また、今年度も既卒の国家試験受験者向けにオンライン学習支援として、演習問題、オンライン試験、国家試験対策講義の動画の配信、オンライン個別指導等を提供したが、利用者は既卒受験者の6%にとどまった。公式LINEから何度か周知したが希望者は増えなかったため、新年度に向けて令和6年度の卒業生には、オンライン学習支援が受けられる旨のチラシを配布した。引き続き、広報しながら今後も既卒受験者の支援となるように取り組む予定である。

- 日本トレーニング指導者認定試験について、令和6年度は合格率87.5%という結果であった。今年度も約8ヶ月の対策講座と課題学習を行った効果もあり、5年間の全国平均(58.6%)を大きく上回る結果となった。引き続き良好な結果を維持できるように対策講座等の改善や充実を図りたいと考える。
- 日本スポーツリハビリテーション学会認定トレーナー認定試験について令和6年度は合格率100%という結果であった。直前の対策講座の受講が合格率の高さにつながっていると考えられるため、次年度も継続して実施する予定である。

#### (参考：令和6年度の各種資格試験の概要)

(表1)柔道整復師国家試験 受験者状況について

年代	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
東日本医療	30	612	40.0%	14	10	71.4%
東北地方	310	174	55.1%	220	160	72.7%
全国	4513	2607	57.8%	3188	2419	75.9%

(表2)日本トレーニング指導者協会認定試験の結果

	当校			全国		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
令和1年度	7	7	100.0%	1462	854	58.4%
令和2年度	26	23	88.5%	1642	1038	63.2%
令和3年度	26	21	80.8%	1625	878	54.0%
令和4年度	21	19	90.5%	1618	963	59.5%
令和5年度	13	9	69.2%	2032	1181	58.1%
令和6年度	16	14	87.5%			

(表3)日本スポーツリハビリテーション学会認定トレーナー認定試験の結果

	当校		
	受験者	合格者	合格率
令和3年度	35	32	91.4%
令和4年度	21	20	95.2%
令和5年度	10	10	100.0%
令和6年度	8	8	100.0%

## 2024年度 鍼灸スポーツ科学科 事業報告書

### 1. 鍼灸スポーツ科学科のクラス編成および試験について。

- (1) 鍼灸スポーツ科学科は3学年システムであり、1年生16名、2年生18名、3年生11名、休学者1名の計46名で2024年度を開始した。
- (2) 全学年ともに前期15コマ、後期15コマの2期制であり、前期・後期の終わりに期末試験および再試験を実施した。
- (3) 3年生は卒業認定実技試験を11月に1回、国家試験模擬試験を6月から11月までに計6回実施した。

### 2. 実践的な教育への取り組みの強化へ務めた。

- (1) 卒業認定実技試験の内容を強化するために試験項目はオスキー、徒手検査法、経穴取穴、鍼灸技術の4項目で査定した。
- (2) 鍼灸技術の向上のために企業による鍼灸実技の特別講義を6月から9月の期間に計16回実施した。
- (3) スポーツトレーナー育成の充実を計るために11月にベガルタ仙台でのプロスポーツ研修を実施した。
- (4) 鍼の道具への知識を高めるために1月に株式会社セイリンによる鍼の製造工程の説明会を実施した。
- (5) コロナ禍のため休止していた付属接骨院・鍼灸院を再稼働させ臨床実習にて利用した。

### 3. 学力向上への取り組みへの強化に努めた。

- (1) 全学年への学習サポートとして夏季長期休みに特別補習を実施した。
- (2) 3年生に対しては国家試験該当教科に担当教員を配置して各生徒の学習状況を分析、それぞれに適した学習指導を実施した。結果として3年生11名中10名が第33回はり師・きゅう師国家試験を受験して10人全員が合格する。ただし前年度は3年生12名中12名全員を国家試験に受験させ全員合格させているため、本年度はそれには及ばず課題が残る結果となる。

### 4. 退学率低下への取り組みへの強化に努めた。

- (1) 各学年へ担任を配置して定期的に個別面談を行い、生徒の心の悩みを早期に把握して対策をするように務めた。結果として全学生46名中、退学者4名の退学率8,7%となり、前年度の退学率8,7%と同水準であった。少しでも退学率を減少できるように更なる努力の必要性を感じた。